



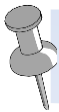
第17号

76期の



— 内容 —

- 学年主任より
- 2学期中間考査講評
- 新しく学年団に入られた先生の紹介



学年主任より

高校生活最後の行事であった体育祭は、76期生の成長を大いに感じるものでした。各団団長が中心となり、1年生2年生も巻き込んで盛り上げてくれて、多数の先生方から賞賛の言葉をいただきました。3学年が一体となった素晴らしい体育祭でした。

体育祭を終え、受験モードのこの時期、恐らくメンタル的にもしんどくなってくるでしょうが、そんなときこそ「76期のWAで頑張ろう」を胸に、みんなで乗り越えていきましょう。また、野球部が作成した鶴文字の「結実」も心の支えにしてください。学習してきたことが実を結び、その成果が現れるのはこれからです。

最後に、今年は岡田監督の「アレ」が話題となる中、阪神タイガースが優勝しました。前回の優勝は皆さんが生まれた18年前です。僕が高校3年生の2003年にも阪神タイガースは18年ぶりの優勝を果たしています。これも一つの縁だなと感じており、皆さんと自分を重ねるように見守っています。

阪神タイガースの勢いにあやかって、皆さんのアレに向かって突き進みましょう！

(76期学年主任 伊藤)



2 学期中間考查講評

現代文

記述式の問題が書けていない答案が非常に多い。中には、記号や書取り問題だけしか解答していない人もいた。こういうコメントをすると、「受験を考えている大学では、現代文の記述問題は出題されないのだから不要です」という人もいるかもしれません。

ちょっと待ってください。確かに、入試に向けての記述現代文対策は不要、という人は少なくないでしょう。しかし、「自分の考えていることを他人にちゃんと伝える」能力は、どんな道に進もうと必ず要求されます。大学入学後は、多くの授業でレポートの提出が課されます。就職すれば、文章を使わずに仕事することはできないでしょう。家族や友人とのコミュニケーションも言葉を媒介に行われるはずで。

これからの、皆さんの人生が、より充実したものになるように、「言葉で表現する」ことの大切さを、再認識してください。

古典（理）

全体平均が 58.2 でした。おおむねよくできていたと思います。以下、正解選択肢より誤答の選択肢を選んだ人のほうが多かった問題ピックアップして解説します。

解答番号 22 「典」の漢字の意味。令和 4 年本試験「評論」において漢字の間われ方が従来から変更され、異なる意味を問う問題が出題された。一つ一つの漢字の意味を辞書で調べることは現実的ではないが、どのような意味で使っているのかを常に意識する必要がある。知らない単語に出会ったときは辞書で調べるようにしましょう。

解答番号 31 この問題を間違えている人は問題集を解いていないということがよくわかります。

解答番号 37 単語の意味としては辞書に掲載されていたとしても文脈に即さない場合があります。特に差がつく問題になるので、取りこぼしの無きよう頑張りましょう。

解答番号 57 「袖」と「涙」のセットを覚えているひとは多いようですが、引き歌をきちんと確認しましょう。「春咲く花を風にまかせし」と、花びらを風で散らさないようにしようと試みたいと思っています。このような引き歌との対応を問う問題は共通テストで出題される可能性も十分ありえます。和歌が問題として出題された際は「必ず」品詞分解・逐語訳を最低限するように。

選択古典

今回は「平家物語」だったので、比較的読みやすかったかもしれません。皆さん、よく頑張っていました。古文は、単語の意味や文法を繰り返し覚え、文章に慣れることがポイントです。今後は「源氏物語」を扱いますので、諦めずに取り組んでもらえればと思います。引き続き、頑張っていきましょう。

GHJ

今回のテスト範囲は、鎌倉幕府の滅亡～織豊政権でした。いずれの大問でも、史料を読み込んで考える問題を基本に、地図や屏風絵から考える問題、正しい(誤った)解説文を選ぶ問題、時代順に並べ替える問題、2～3の文の各正誤をこたえる問題など、共通テストと類似形態の問題が多く出題されました。出題範囲が中世のみと限定されていましたし、史料・絵図も授業でとりあげたものがほとんどでしたので、回答はしやすかったかなと思います。

各設問の解説は授業中に大体済ませました。あと3か月に迫った『共通テスト』本番に備えて、そろそろラストスパートに入る時期で、これからは理社中心にしっかりと準備を整えましょう。日本史では、例年60分間で小問32題が出題されています。出題される資料も初見のものも多く、またそれらを会話文やレポート形式の問題文の中で読み取っていかなければならないものなど、かなり煩雑な問題様式が多くなっています。リード文、問題文。選択肢の解説文はもちろんのこと、史資料の文や絵図も短時間で読み取らなければなりません。できるだけ多くのそうした問題に取り組んで、本番に備えてください。

GG

定期考査については一点だけ、授業の繰り返しで書いておきます。時間の割にかなり多くの出題をしました。設問は、なかなか皆さんがすぐに触れづらい出典からを中心とした出題ですので、十分考査時間内で解答できなかった設問については、落ち着いて解きなおして、ぜひとも有効活用してください。

さて、一つ前の第15号の学年通信にはこんなことを書きました。

「この夏、いよいよ地理の勉強、始め時です！ 模試と実力考査の結果も楽しみです☆」

この号が発行された7月末から、3か月経過しました。授業でも伝えましたが、模試の結果として、4月末から7月末までの間にも、地理の力・実力を少しずつ蓄えてきてくれていることが、結果として出てきています。4月～7月の3か月で結果が変わってきているわけなので、地歴公民科目は他教科よりも比較的短時間でも力を蓄えることができると思います。

日々の授業と共に、様々な教科・科目を勉強しないといけない秋のタイミング。秋から地歴公民科目だけを重点的に追い込める時間は、やっぱりなかったことが身に染みていることでしょう。ですが、地理の勉強も継続して、勉強時間をいろんな教科・科目の学習の中に食い込ませて、入れこんでいってください。幸いにも地理の学習、1区切りは他教科より短時間でできるはずなので、他教科の合い間、すき間時間の学習に最適です！

地理の全学習範囲を終えた今、演習の継続が必要な時です。夏からの共テ・センター過去問が一区切りできているのであれば、市販等の対策問題にも少し手を出してみましょう！（万が一、共テ・センターの過去問ができていないのであれば、優先順位は共テ・センター過去問です。順番を誤ってはいけません）。科目の性質を踏まえて、アウトプットの学習＝問題演習を、量より質も重視して引き続き継続しましょう。

4月～7月の後、8月～10月の3か月間の力が蓄えられた今、これから本番までの3か月間の間で、まだまだ地理の力・実力は上積みできそうですね！

倫理（公民特論の倫理分野含む）

今回の主な出題範囲は、西洋近現代思想でした。たくさんの思想家が登場するため、今の段階では各思想家の内容をしっかりと判別できず、ごっちゃになっているのかと思います。教科書・資料集（・お気に入りの参考書）を用いて、何度も復習しなければなりません。

これまでみなさんは、国数英に多くの時間を注ぎ込んだと思うし、それは正しいです。しかし、これからは地歴公民科目に注ぎ込む時間をもっと増やしましょう。地歴公民の勉強が足りていません。地歴公民の配点が少ないとはいえ、2次試験が難化した場合は結局共通テストの点数が合否に大きな影響を与えますので、地歴公民で何点とるかが重要です。また、英語の配点が高い学部を受験する場合も、地歴公民の配点は低いことがあると思いますが、そこに受験する生徒はみんな英語ができる（英語はできて当たり前）ので、英語ではあまり差がつかません。配点の低い地歴公民が合否に影響を与える度合いは、意外と大きいです。

共通テストまで3か月切っています。復習を何度も行って、どんどん知識を頭に入れていきましょう。

文系数学演習

学年平均は47程度。問題数は少ないため、一つ一つにかけられる時間は多いとは思いますが、それでもよくできていたのではないかと思います。一学期から意識していたのが「誘導に乗ることができるか」というところ。小問がヒントになり、次の問題につながる感覚を身に着けていきたいです。また、例えば今回の4はやや難しい出題ではありましたが、その基礎となっているのは微分や相加平均相乗平均の大小関係の基本的な知識です。メジアンの問題演習で厳しいと感じたら、その単元の基礎知識に戻って反復学習を行ってください。基礎の徹底が最も成果につながるはず。頑張ってください。

数学ⅠA 総合演習

数学ⅠA からすべての内容で選択のない形で問題を作成しました。ダブルマーク等マークミスしている人がまだいました。解けていてもミスすれば得点になりません。注意していきましょう。

今回のテストで得意分野、苦手分野が見えてきた人もいますか？

得意分野はこのまま維持できるようにし、苦手分野は覚えるべきことを確認し解けるように演習してください。

次回の期末考査も今回と同じようには数学ⅠAの内容で試験を実施します。共通テストでは、限られた時間で早く正確に計算し解いていかないとはいけません。計算ミスの無いよう早く解けるようにしてください。

数学ⅡB 総合演習

共通テスト形式での出題でした。

- ① 三角関数（2倍角の合成）、指数・対数（指数の大小比較）
- ② 微分・積分（3次関数のグラフとx軸で囲まれた面積）
- ③ 数列（漸化式）
- ④ ベクトル（交点の位置ベクトル、内積と三角形の面積）

共通テストでの目標点は設定していますか？今回の考査ではその目標点とどれくらい離れていましたか？その差を埋めるのが受験勉強です。ただし、共通テストは時間内に解き切ることに難しさがあります。今回の試験で時間が足りず、最後まで解けなかった人は、大問ごとで試験時間を割り振って全部の問題に時間を割くようにして、**60分での最大得点**をめざしてください。期末考査までの授業では、共通テスト60分を30分ずつに分けた実践問題での演習を行います。大問ごとに7割を取ることができれば合計点でも7割をとることができます。目標点を達成するためには作戦も必要になってくるので、授業での演習で時間配分についても考えて取り組んでいきましょう。

数Ⅲα

今回の考査も、授業で扱ったメジアンの問題の類題を中心に出題しました。

- ① 共通テストに向けて、数学Ⅰの基礎的な内容の確認です。よくできていました。
- ② 定積分で表わされた関数を求める問題です。a, b が定数のとき、 $\int_a^b f(x)dx$ は定数なので適当な文字で置き換えて考えましょう。
- ③ ベクトルの大きさの条件の問題は、 $|\vec{p}|$ は $|\vec{p}|^2$ を考えて変形していくことが基本です。
- ④ ベクトルの終点の存在範囲の問題です。 $\vec{OP} = \bullet \vec{OA} + \blacktriangle \vec{OB}$ で表された点Pの存在範囲は $\bullet + \blacktriangle = 1$ なら直線 AB、 $\bullet + \blacktriangle = 1$, $\bullet \geq 0$, $\blacktriangle \geq 0$ なら線分 AB
答案の書き方も練習しておきましょう。
- ⑤ 共通接線は C_1 に接する接線が C_2 にも接すると考えて求められます。面積を求めるときの定積分の計算は $(x-\alpha)^2$ の形になるので、 $\int (x-\alpha)^2 dx = \frac{(x-\alpha)^3}{3} + C$ (Cは積分定数) を用いると計算がラクになります。
- ⑥ 数列の問題で、 a_n と S_n の関係式が与えられているときは、 $n \geq 2$ のとき、 $a_n = S_n - S_{n-1}$
 $a_1 = S_1$ を利用しましょう。

入試で記述がある人は、答案の書き方も注意しながら勉強してください。

入試本番が近づいてきて、焦ってしまう人もいるかもしれません。

でも地道にコツコツと努力すれば、必ず実力もついていきます。現役生はこれからまだまだ伸びます。最後まで頑張りましょう。体調崩さないように、十分注意して過ごしてください。

数Ⅲβ

①、②の出来が特に悪かった、という印象でした。極限の問題はシンプルに不定形を解消する問題の他に、公式を利用するものがあります。(sinx/xの極限、微分係数の定義、自然対数の底eの定義)よく復習しておきましょう。また、不等式によってはグラフを利用して、効率的に解くことがあります。クラスルームに掲載しているので確認しておいてください。

そのほかの問題はクリアー、またはオリジナルスタンダードで演習しているものによく似ているものを出题しています。⑤などは特に頻出かつ得点源にしておきたい問題ですので、こちらもよく復習しておきましょう。

数学特論

学年全体の平均点は42.7点。

共通テストと2次試験を見据え、基本的な問題・解法が見てすぐに思いついてほしい問題を出题していますが、もう少しできてもいいなというのが率直な感想です。

- 1 連立方程式が実数解をもつ条件。変数を一つ消去して、2次方程式が実数解をもつ条件を求める問題です。図形的な処理をする人は②の式で、 $4a - a^2 = 0$ のときは②が原点のみを表すことに注意してください。
- 2 $\sqrt{3}$ が無理数であることの証明。有理数と無理数の等式。(1)はもう定型文です。(2)について。問題文には明記されていませんが、これは(無理数) \times (有理数) $= 0$ を満たす有理数は0に限られることを示す問題です。背理法を利用しますが、無理数と有理数の積について言及することは、証明するものを利用しているのでよくありません。(無理数) $=$ (有理数)の式を作りましょう。また、 $ab = 0$ から $a = 0$ 、または $b = 0$ の後は両方確認しなければなりません。
- 3 2次関数の最大最小に関する問題。計算ミスが多いです。この時期にこれをミスしてはいけません。気を付けましょう。場合分けがうまくいかなかった人は共通テストに直結します。
- 4 完全順列による確率の問題。場合の数の計算では、何を指すのかちゃんと書きましょう。
- 5 剰余の定理についての問題。(1)は大問3と同様。(2)は、微分での解答も構いません。積の導関数を正しく記述してください。微分でやろうとして失敗した人や、余りの設定で終わった人は、この解法を学んでください。
- 6 3元1次方程式を満たす整数の組み合わせの問題。文字の範囲の設定は間違えないように。8進法と7進法なので、6以下です。どれか一つの文字に着目して候補を絞りましょう。授業で行った大小関係の利用や、今回の考査の倍数に注目するなどやり方は様々あります。今回の解答もよく読み理解し、使えるようになってください。「式まで完成させ、よって答え」のような解答が非常に多いです。このような問では、絞る過程が評価されます。

「何を書くべきか」これを理解できるのが、学力ではと感じています。解答に何を要求しているのか考えて、普段から答案づくりをしてください。答えが導かれるだけではありません。自分の答案と解答に違いがあれば、しっかりと解答の吟味をしてください。決して楽な作業ではありません。次回が高校最後の考査です。範囲も重要なところです。考査への努力の先に、共通テスト・2次試験が待っています。76期全体でもうひと踏ん張りしましょう。

理数生物（理）

考査の平均点は53.3点でした。【1】問1：フロリゲンがどこで作られるのか、また、植物のどこを通過して運ばれているのかをおさえておきましょう。環状除皮によって何が取り除かれているのか、教科書P.258の図で確認をしておいてください。【2】問2：考察問題のように見えて、群生相と孤独相の特徴が分かっているのか、知識も必要な問題でもありました。教科書P.327の図を見てください。また、参考+ α とは書かれていますが教科書P.328「アリー効果」も興味深い現象です。忘れていた人はもう一度読んでおいてください。【5】問4：遺伝的浮動の影響は集団が小さくなるほど強くなります。遺伝的浮動の定義とともにおさえておきましょう。ただし、遺伝子頻度は図説P.300¹にあるように、いくつかの要素がからんでいます。問5：(a)遺伝子頻度の一番基本的な問題と言えます。必ずおさえておきましょう。(b)(c)遺伝子頻度に関する問題シリーズなので、Aやaなどの割合だけを考えがちかもしれませんが、しかし、今回のように表現型についてきかれることもありますし、それを求めるために遺伝子型の比を求めることもあります。各問題の計算方法だけでなく、「何について問われているのか」をしっかりみきわめ、類似問題を何度もやってみてください。そうすればある程度パターンが見えてくると思います。【6】問2：授業で実施した演習問題にかなり近いものです。授業プリントの問題とあわせて復習をしましょう。

今回の考査で教科書は一通り内容を終えましたが、まだまだ忘れてしまっているところや理解しきれていないところなどあると思います。他の科目との兼ね合いもあるかと思いますが、復習・演習を重ねて力をつけていきましょう。自分が苦手なところをノートなどにまとめていくのもよいと思います。体に気を付けて、コツコツ頑張っていくいきましょう。みなさんの学校生活・受験勉強が充実したものになることを心より願っています。(文責：福山)

理数化学（理）

平均点は43.7でした。問1の内容など考えると、もう少し取ってほしかったです。

毎度のように、テストの復習をしよう、と書いているわけですが、これは言い換えたら「今、もう一度同じテストをやったら、手元の答案より少しでも高得点をとれるだろうか?」ということですよ。まさか、この中間テストに関して、もう忘れたから同じ点も取れません、ということはないでしょうが…では、1学期のテストはどうでしょう? 1年生、2年生のテストは?

できなかったことができるようになっていく、というのも、学ぶ楽しさの一つではないかな、と思います。これから大学入試に向かっていくにあたって、そういった楽しさを見つけながら取り組んでくれたらと思います。(高野)

英語Ⅲ

① リスニング

考查までの範囲で授業中実施したものとよく似た形式を出題しました。クラスルームに音声とスクリプトを載せています。確認の際利用してください。

②～④ シス単からの出題です。スペル的に困難なものはないので、確実に書けるようにしておいてください。

⑤ Cutting Edge の Chapter1 から出題しました。6の英文和訳についてですが、Who would have believed ～? 「一体誰が～を信じただろうか？」を基幹とする英文です。be able to read～、fix～、clone～と3つの動詞が続き、and (would) be close to ～ing 「もう少しで～しそうだ」がつながっている構文です。なので and までを和訳して and をつないで訳していくのが一番和訳としてわかりやすくなります。

⑥ CE の Chapter 2からの出題です。空欄に入れる数字ができていないのは残念です。2の和訳ですが、that trade-off のさす内容が抑えられているかどうかを採点時に見ました。トレードに出すということは、「老齢期に追加される2～3年と引き換えに、若い頃の数千時間を手放すこと」ということです。

⑦ CE の Chapter 3からの出題です。テキストの出題とは少し違っていますが、そこでの問題と同じような内容を問われています。

⑧ CE の Chapter 7からの出題です。1～3は空欄補充でした。よく読んで理解していればできるようになっていますが、空欄だったり間違えていたりなかなか正解を得ることが難しかったようです。

4の並べ替えでは、too は副詞で形容詞を修飾するので **too fierce** an environment となります。注意しましょう。

⑨ ⑩ は実力問題でした。日本語訳をクラスルームにアップしていますので参考にしながら確認しておいてください。

*これから実戦問題を解くことで入試に備えていく時期になりましたが、この授業で得たものが土台となっていくわけで、絶対に疎かにはできないはずですが、残念ながら集中していなかったり、違うことをしたりで貴重な時間が無駄に使われています。せっかくの授業を無駄にすることなくうまく活用して50分の授業で身につけていってください。

テスト本番までの時間は刻々と近づいています。放課後できる時間は限られています。集中力とそれを持続できる体力も授業で培ってください。体調にはくれぐれも注意し、できることに最大限の努力をしてください。

英語理解（文科理科共通）

●総評

学年平均は55.7点(理系クラス:52.0点、文系クラス:60.8点)。平均点だけで判断するものではありませんが、理系クラスの人たち(4組を除く)、もう少し頑張ってもらいたいと切実に思います。普段の授業の様子を見ていても、授業の予習状況において大きな差があります。そして、予習をしていない人たちほど、授業中についていけなくてグターッと伏せてしまったりという姿も見受けられます。自分の志望校には英作文が出ないから、と思って手を抜いているとしたら、それは間違い。英語理解の授業では、英作文の練習を切り口に、全文法を復習しているのです。テストでも、こつこつブライトステージの勉強を続けてきた人は、今回で言うマークの部分で高得点を取れてきたので、全体の点数もグーンと上がってきています。高校時代に受ける最後となるかもしれないこれから期末試験までの授業を、どうか大切にしてください。気候も涼しくなってきた、近頃急に焦りを感じている人がいるかもしれませんが、焦っても仕方がない。日々平常心で、授業を大切にすることはきっとこれから待ち受ける波をうまく乗り越えていけます。自分が焦っていると感じる時ほど、学校で友達とそんな感情をも語り合って、たくさん笑って健康に過ごしましょう(先日のがん教育で学びましたよね、笑うと免疫力が高まる、と!)

●問題の解説

③ 並べ替え問題

以下に全文を載せておくので、もう一度復習しておくこと。特に、(1)は授業中にも理解に苦しんでいる人が多かった。

(1) In our society, it may still be difficult for fathers to be **as involved** in raising children **as** mothers.

☆この問題(父は母と同じくらい子育てに関わっている)と考えるときに、同じくらいの中身、つまり as~as の中身が何かを考えることが鍵。答えは、involved が形容詞(involve している状態)扱いなので、fathers are **as involved** **as** mothers で「母親と同じくらい関わっている」という部分が作られたかがポイントです。また be involved in~:~に関わるという熟語の一部なので、正解は、上記のようになる。このように現在分詞や過去分詞が形容詞としての役割を果たす用法は、ブライトステージ P.304, 305 に載っているので参考にすること。

(2) It would be risky to depend on only one energy source.

(3) If you want to maintain good relationships with your colleagues, you should avoid saying anything that could make them angry.

(4) With a time machine, I could travel freely in time.

- (5) His English was easier to catch than that of other people.
 (6) It seems that this town is greener than it was ten years ago.
 (7) Our new house has twice as many rooms as the one where we used to live.
 (8) I often wonder what this town would look like to me if I were not a traveler but a local.

5 部分英作

- (2) Andrew is still in (his)(early)(twenties), but he looks old (for) his age.

多かった悲しい誤答

- the early twenties ← 「1990年代」などは the だが、「年齢」の場合は「所有格」
- her early twenties ← 後半に he があるので、「アンドリュウ」は男性だと気づいてほしかった

- (3) The library was more crowded than I (expected), but I (managed)(to) find an (empty) seat.

多かった誤答

- than I thought ← expect は未来のことを示唆するが、think は示唆しない。よって、think を用いて書く場合、厳密には I thought it would be と未来のことであることを明示して書かねばならない。カジュアルな(informalな)場面では、than I thought もよく使われるが、I thought S' was/did. のように時制が同じ場合が多い。
- succeeded to find ← succeed to do は不可。succeed in doing が正しい。

- (4) In (another)(survey), half of the people who thought they were unhappy (considered)(wealth) and success more important than human relationships.

多かった誤答

- In other survey ← survey は「加算名詞」なので、another survey が正しい。research は「不加算名詞」なので、other research となる。

- (5) Almost half of the food required to (feed) everyone in the world is being (thrown) away every day, while one (out)(of) nine people cannot get enough to eat.

多かった悲しい誤答

- one of the nine people ← 「その9人のうち1人が」という意味になる。「どの9人」か分からないし、「1人」だけが食料を得られないことになるので不可。

- (6) Humans have imagination, (which) allows them to feel (as)(if) they have experienced something even (if) they have actually not.

- 「たとえ～していなくても」は、「仮定」の話という感じがするので even though より even if の方がふさわしい。2つの違いは15章でも扱われる。

- (7) It is said that those who are talking on the phone while driving are about four times (as)(likely) to cause a traffic accident as those who are (concentrating)(on) driving.

多かった悲しい誤答

- those who are concentrate on driving ← 直前に are があるので、concentrate が「原形」なのはおかしい。
- concentrating in/to driving ← concentrate とともに使われる前置詞は on。シスタンの最初の方に出てくる単語にも関わらず、特に理系で前置詞の間違いが多かった。

⑥ 英作文

模範解答に掲載した分からの補足事項を以下に書きます。

(1) ・若い時、in one's youth は OK だが、in young, in young age などの誤答が多かった。

• 楽器：musical instrument を music instrument との誤答が多数あった。

(3) 惜しい誤答の例として、

The number of people who change their jobs in the U.S is larger than that in Japan.
あくまでも、比べているのは the number of people なので、後半は「日本のそれ」→ than that of Japan としなければならない。

(4) 「ほっとする」の表現として、feel relieved が正解であるが、feel relief と書いた人が多数いた。
ストレスが多い→feel stressed (×feel stress, have stress は○)としたように、feel の後は形容詞(状態)にすべきである例の一つ。気を付けましょう。



新しく学年団に入られた先生の紹介

2学期中間考査が終わり、3組の副担任として新たに学年団『76期のWA』に加わってくださった岡田先生をご紹介します。

3組（副担任）

【名前】	岡田 浩之（おかだ ひろゆき）
【担当教科・科目】	理数生物・生物演習
【顧問クラブ】	生物部・男子ハンドボール部
【趣味】	音楽・Jリーグ観戦・語学
【特技】	中国語
【好きなもの】	授業内容で替え歌づくり？
【座右の銘】	まず楽しむ！
【76期へひとこと！】	2年半ぶりの岸高でまだ緊張していますが、みなさんに合った授業ができるように頑張ります。 みんなと話すのが大好きなので、たくさん話しかけてもらえると嬉しいです。